

第2期中心市街地活性化基本計画検討委員 アンケート結果

回答者:13名

Q1:現在の鳥取市の中心市街地のイメージ

【賑わいについて】

活力がない、賑わいがない
通行人が少なく、活気に乏しい
活気がない
街全体が暗い感じがする人の出入りが少なくさみしい
活力がない
静かで、ゆっくりと時間が流れているようで落ち着きがある
おとなしい(音なし)ので、ほっとくつろげるような感じ
昼間の状況をみると人口の郊外化に加え、事業所も郊外に移転してし、人の動きが少なく活気がみられない
やはり寂しい新陳代謝が進んでいない時間をつぶす場所がない
歴史ある静かなたたずまいのある、心いやされる街
平日だけでなく土日でも人通りが少なく、シャッターが閉まっている店が見受けられる

【店舗について】

空き店舗が目立つ
本通り、若桜街道には新しい飲食店も徐々にできており、今後に期待したい
各商店街、各店舗にやる気があるのか・ないのか何も伝わってこない
メイン通り(若桜街道)特に駅前商店街に品格が感じられない
行ってみようと思う店が一店舗もない
空き店舗も多いが、若桜街道・駅前には飲食店が多く、昼間はほとんど閉まっているので、なおさら寂しい
人を呼び込もうと思えば、若い人を店員に使わないとだめ
個店経営者は何とかしようとしているようにも見えない
空き店舗が商店街のつながりを切っている
生活必需品を取り扱う商店が少なく市民の生活に不便が生じている
購買意欲をかきたてられるお店(特に、食料品)がない

【まちの機能について】

県庁所在地らしい、行政機能や福祉・文化機能の集積がある
活性化というよりインフラ更新が進んでいる
情報発信量と人が集まる溜まりが少ない
中心市街地に必要な公共交通をはじめ市民の多様な生活に必要な機能の適正配置と整備が遅れている
商業機能が衰退し、人口の動きがない

【交通について】

旧とりせん交差点付近～末広通りまで業務等で一時駐車している車両が後を絶たない夜は歩行者も横断して危険。道路拡幅等の整備が必要
街を歩いてみよと思っても、駐車場が少ない。1～2時間の無料券では人は呼べない

【安全について】

夜間の状況をみるとマンション等集合住宅の建設も一巡し、戸建住宅の空き屋化や跡地の月極駐車場化が顕著に見られ、安全・安心なマチとはいえなくなっている
建物の老朽化が進み景観は京都の中心市街地とは思えず、地震等の災害に耐えうる状況とはいえない

【観光について】

温泉や川が活かされていない

【その他】

各商店街と、そこに住む住民が活性化に向けて意識を共有し、努力している姿が感じられない
自分たち(街全体)で何とかしようとする姿が見えない
委員会で提示されたアンケートは、少し実態が反映されていない
中心市街地の活性化は、個々の商店が活性化することではない
まちなかに子どもの姿が見えない

Q2：中心市街地を活性化させるためには、具体的に何が必要だと思いますか。
（「住みたい」、「行きたい」、「ふるさと」を感じるまちにするには）

【店舗について】

スイーツチケット（仮称）等、街中の飲食店がやってみようと思える施策作り
魅力ある店舗づくり（リピーターになれる店づくり）・・・街の大改造
経営者、従業員の接客態度を含む全体のレベルアップ
街全体の建物も古くなっているため、新しくする集合店舗にして、残りを駐車場にする
空き店舗の有効活用の為、固定資産税+α程度の安い家賃で貸す
街をウインドショッピングしながら歩いてみたいような専門店が並ぶ街、おしゃれな食事ができるレストラン、若者や高齢者がライブをするような店

【交通について】

循環バス「くる梨」の運行路線の増便
バス駐車場の整備
街を周遊してもらおうか滞在時間を長くする工夫このためには、現在のように 駐車場が何か所かしかないのは不便ではあるが、周遊という点で、好都合
まちに人を呼び込むのは、目当ての店の前に車を横付けしてそこで買い物だけをする事とは違う
耐震に問題のある建物は更地にして、駐車場を増やす
脱車社会自家用車だとすぐに自宅に帰ってしまうピンポイントでしか移動しない

【観光について】

袋川河川敷の清掃整備（きれいで魚が泳ぐ川にする）
久松公園周辺に観光拠点を作っても、周辺には民間の商業施設がほとんどないため、経済効果は限定
域外から人を呼び込むには、商店街の人々の「おもてなしの心」が必須
関西・中国からの鳥取日帰りバスツアー商品造成に於いて行程を浦富海外→砂丘→白兎or賀露 から浦富海岸→砂丘→市街地 に変更させるような街中整備
駅前鳥取温泉の有効活用

【まちの機能について】

他の都市から移り住みたくなるような暮らしやすさ・制度
高齢者の集まる場所、若い家族連れが遊び楽しめる場所が必要
中心市街地の中に核となるような施設(建物に限らない)を整備する
まちかどほっとくつろぎの居場所、腰掛椅子の設置（よろずや）
公園設備、駐車場等（世代間交流のため）の充実
高齢者、子ども、障害者等の多様なニーズに対応できる機能の充実
若者の働ける場(都市型産業誘致や起業促進)、楽しめる場(飲食、ファッション、映画、娯楽等)、学べる場(大学のサテライトスタジオ、専門学校誘致等)、住める場づくり(空き家のシェアハウス化等)
地域社会変化に対応した魅力ある個性豊かな環境整備

【人口について】

商店主の家族が中心市街地に住む（人口も子どもも多くなる）
オフィスや医療施設など、昼間に多くの人がそこで働く（昼間人口を増やす）ようにして人をまずは確保しないと、よい循環は生まれない

【イベントについて】

各商店街ごとではなく、もっと広い視点で施設配置、イベント等を考えていくことが必要（同じようなイベントはまとめて開催、週ごとにエリアを変える）
中山間地との共同イベント開催とかこのための新たな交通網をつくることも双方に広がりができる

【安全について】

災害に強い安全・安心なまちづくりを進める

【その他】

活性化を担うプレイヤーへ投資をすること
各商店街と、そこに住む住民が活性化に向けて意識を共有し、努力する
自ら努力せず結果を他人のせいにする風潮の改善
何にでも反対ではなく、行政と車の両輪の精神で対応すること
中心市街地の活性化のために行政を頼ってもダメ
街づくりの担い手の育成や若者が活動できる拠点づくり
視点を絞る商店街を中心に考えるか、歴史を重点に考えるか観光か、老人の住みやすさか住民の便利か、奇想天外な（漫画的）建物

街なか、ええなあ計画が実現したら立派なまちになる
域内で人・モノ・金の動きを考えるのではなく、外資（域外）から呼び込むための施策・戦略が欠けている
路面電車を走らせるくらいのインパクト
関心をひきつける魅力をもった社会資源（人材、建物など）の活用
レトロ感を生かして、歴史の関連性を持たせる（お宝、いにしえマップ）
鳥取ならではの生活に密着しているものを取り集めてPR（おとりよせ）
落ち着いた美しい街並みの整備
因幡と但馬の連携強化を進め、情報発信拠点の整備や関連情報を積極的に発信することにより文化、観光、商業等の進行を図る
エリア毎の特徴を明確にした上で必要な投資のみを集中化する
交流人口を増やすことに主眼を置くのか、静かでも心温まる潤いのある地域を形成することに主眼を置くのか考えてみる必要がある
訪れる人に中心市街地に何が不足していて、魅力が足りないかを尋ねるのも良い
先進地の事例に学ぶ他所と比較して、より良くしようと努力する

